

#### 4 天気と情報②台風と防災 (指導時期 7月・4時間)

★：その学年で特に育成を目指すべき問題解決の力を意識した内容です。

◆：その時間で学習する活動内容です。

単元の目標

雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。

●天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できること。

●天気の変化の仕方について追究する中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
台風の接近と天気	1	○台風が近づいたときに何が起こるのかを話し合う。	<p><b>【態度】</b> 台風についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>
	2 3	<p>○台風が近づくと、天気はどのように変わるかを調べる方法について、計画を立てる。</p> <p>★ 計画</p> <p>○台風が近づいたときの気象情報と天気の変化の関係を調べる。</p> <p>◆ 調べる</p>	<p><b>【思・判・表】</b> 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p> <hr/> <p><b>【知・技】</b> 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉</p> <hr/> <p><b>【思・判・表】</b> 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p>

		<p><b>【知・技】</b>          天気の変化は映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。          〈発言分析・記述分析〉</p>
4	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	<p><b>【知・技】</b>          台風の進路は天気の変化の規則性が当てはまらないこと、また、台風がもたらす降雨は短時間に多量になることを理解している。          〈発言分析・記述分析〉</p> <hr/> <p><b>【態度】</b>          台風について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。          〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>

**【準備物】**

記録用紙、タブレット、新聞などの気象情報（雲画像、雨量情報、台風に関する情報など）